

平成 28 年度新規課題

研究区分	革新（地域戦略プロ）	試験期間	H28～30
課題名	モモ・ナシの高品質・安定生産を実現する病害防除技術体系の実証研究【地域戦略】		
関連の重要研究課題名	Ⅲ 環境にやさしい農業技術の開発 化学合成農薬使用削減のための技術開発		
担当試験場・部	果樹試験場・環境部、南信農業試験場・栽培部（中核機関：（国研）農研機構・果樹茶業部門 共同機関：福島県、新潟県、愛知県、和歌山県、東京農業大学ほか）		

【現状と課題】

近年、長野県内のみならず、全国のもも産地ではモモせん孔細菌病が、また、なし産地ではナシ黒星病が多発生しており、継続的に被害を受けている。

モモせん孔細菌病は発生ほ場では園内に菌が定着し慢性的な被害を及ぼす難防除病害であり、県下の発生面積率は漸増傾向にある。

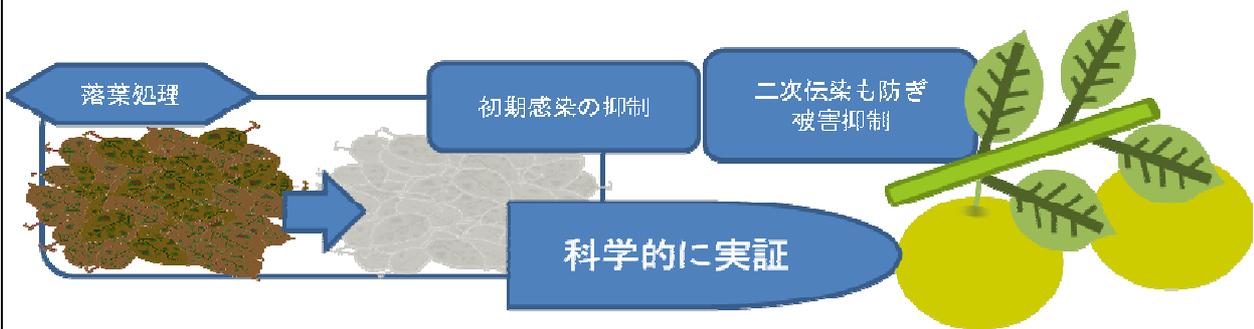
ナシ黒星病は天候不順などによる感染拡大に加え、これまで防除の中核として使用されてきたE B I 剤の効力低下も確認されている。

このような状況の中、モモせん孔細菌病、ナシ黒星病ともに薬剤防除に耕種的対策を組み合わせた総合的防除対策の確立、実証が求められている。



【試験研究計画】

- 1 モモせん孔細菌病被害軽減のための総合的防除技術の体系化及び実証
効率的な防除時期の解明及び適切な秋季防除期間の検討（果樹試）
- 2 ナシ黒星病の被害軽減のための効果的防除技術の体系化及び実証
ナシ黒星病に対する落葉処理効果の科学的検証（南信試）



【期待される成果】

- 1 耕種的防除法の防除効果が明らかとなり、効率的防除技術が確立される。
- 2 作業性に優れた処理方法を開発、総合的防除対策が確立され、被害軽減が可能となる。
- 3 農薬の効率的使用による薬剤耐病性菌の蔓延防止、被害軽減が可能となる。